

Special Tec V 0W-20 5L

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31 7月 2020
バージョン: 1.0

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子
製品名

Special Tec V 0W-20 5L

他の識別手段

20632 (5L)

化学品の推奨用途と使用上の制限
推奨用途
使用上の制限

エンジンオイル 以下を対象: Volvo
知られていない。

安全性データシート供給者の詳細
供給者の詳細
納入業者の住所

LIQUI MOLY GmbH
Jerg-Wieland-Str. 4
89081 Ulm-Lehr
ドイツ

電話

(+49) 0731-1420-0

F a x

(+49) 0731-1420-88

E メール(担当者)

info@liqui-moly.de

緊急電話番号

緊急連絡用電話の番号

+49 (0) 6132 / 84463

24 時間

セクション 2: 危険性物質の特定

危険有害性の概要

製品の取り扱い:

茶色。、液体。、遺伝性疾患のおそれの疑い。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

推奨: 保護手袋/保護眼鏡/保護面 を着用すること。

吸入した場合: 呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気の場合に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で優しく洗う。刺激があらわれ持続した場合、医師の手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。刺激があらわれ持続した場合、医師の手当てを受けること。

飲みこんだ場合: 口をすすぐこと。医療関係者の指示がない限りは嘔吐させないでください。医師に連絡すること。

物質または混合物の分類

以下に準拠: JIS Z 7252: 2019

物理的な危険性

分類されていない。

健康に対する有害性

Muta. 2; H341

Skin Sens. 1; H317

STOT RE 2; H373

環境に対する危険

分類されていない。

表示要素

Special Tec V 0W-20 5L

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日: 31 7月 2020
バージョン: 1.0

危険性を表す絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。
H373: 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

注意書き
安全対策

P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P261: 蒸気 一の吸入を避けること。
P272: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280: 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P308+P313: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
P333+P313: 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P405: 施錠して保管すること。
P501: 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

応答

保管
廃棄

他の危険有害性

繰返して被爆すると、皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。

セクション 3: 組成/成分の情報

化学物質 - 該当なし。
混合物

GHS の分類 JIS Z 7252: 2019

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	化審法 官報公示 番号 [^]	危険有害性分類
水素処理重パラフィン系石油留分	60-100	64742-54-7	265-157-1	-	分類されていない。
水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 1 5 ~ 3 0)	0-2	72623-86-0	276-737-9	-	Acute Tox. 4; H332 Muta. 2; H341 STOT SE 2; H371 STOT RE 1; H372 Asp. Tox. 1; H304
水素処理軽パラフィン系石油留分	0-2	72623-87-1	276-738-4	-	Acute Tox. 4; H332 Muta. 2; H341 STOT SE 2; H371 STOT RE 1; H372 Asp. Tox. 1; H304
C14-16-18 Alkyl phenol	0-2	-	931-468-2	-	Skin Sens. 1B; H317 STOT RE 2; H373
ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン	0-2	36878-20-3	253-249-4	3-138	Aquatic Chronic 3; H412

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 1 6 を参照する。 ^化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律 (MITI 番号)
当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断/手当てを受けてください。

皮膚接触

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で優しく洗う。刺激があらわれ持続した場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。刺激があらわれ持続した場合、医師の手当てを受けること。

摂取

飲みこんだ場合: 口をすすぐこと。多量の水を飲ませること。無理に吐かせないこと。気分が悪い場合は、中毒センターに連絡する。意識のない人には、決して何も経口投与してはいけません。暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断/手当てを受けてください。

最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

遺伝性疾患のおそれの疑い。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。繰り返すまたは長期間の接触により皮膚を脱脂し、皮膚の乾燥、皮膚割れ、皮膚炎を起こすことがある。

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態

症状によって処置する。中毒症状が数日後に現われることがある。

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺の火災に適切な。炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。

不適切な消火剤

ウォータ-ジェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がることがあります。

当該物質または混合物に起因する特別な危険性

本品は引火性に分類されないが、火炎に接触するか高温にさらされると燃える。燃焼すると有毒な煙を発生することがある。燃焼生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素

消火作業者の特別な保護具と予防措置

適当な距離から注意して消火すること。消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フェームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。環境への放出を避けること。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

注意 - 流出物は滑りやすい時もある。作業員は被暴を最小限にするように訓練されていることを確認します。流出物をとり除く間、適切な保護具を着用する。適切な換気を確保する。取扱い後は手を完全に洗うこと。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。全ての接触を避けること。蒸気一吸を避けること。

環境的予防措置

環境への放出を避けること。

封じ込めと清掃のための方法および資材

機械的に収集する。不活性吸収剤で吸収させる。液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、一般的結合剤) で吸収する。適切な換気を確保する。全ての接触を避けること。化学防護服および呼吸装置を着用、装着してください。廃棄: セクション 13 を参照してください。

Special Tec V 0W-20 5L

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日: 31 7月 2020

バージョン: 1.0

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての接触を避けること。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。蒸気 一の吸入を避けること。

安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

次の項を参照: 8: 保護具. 適切な換気を確保する。 . 高い産業衛生水準を維持します。 取扱い後は手を完全に洗うこと。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。

保管温度

容器を密閉しておくこと。熱源および着火源から離れた、換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。施錠して保管すること。

混触危険物質

涼しく換気の良い場所に保管してください。

～から離すこと: 強酸化物類。 .

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

職業暴露限度

確立されていない。

生物学的暴露指数

確立されていない。

適切な工学的管理

より高度なレベルの保護具が必要かどうか、作業工程と潜在的暴露の程度を考慮する。 作業員は被暴を最小限にするように訓練されていることを確認します。

適切な換気を確保する。換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。適切な衛生管理方法および雑務実施方法. 眼と皮膚を洗浄するための洗浄施設/ 洗浄水があること。

個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

高い産業衛生水準を維持します。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。蒸気 一の吸入を避けること。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。全ての接触を避けること。摂取しないでください。本品使用前には皮膚保護クリームを使用すること。

保護衣は、扱う有害物質の濃度と量に応じて、作業場所専用を選択する必要があります。保護服の化学物質に対する耐性は、それぞれの供給業者に確認する必要があります。

目/顔面の保護



適切な目の保護具を使用する。(以下に類似: EN166) 洗眼ボトルを準備しておかなければなりません。

皮膚の保護



手の保護: 不浸透性の手袋を着用します。以下に類似: EN374.

浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に交換すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。 EN 374に準拠した480分以上の浸透時間に対応する、保護指数6。 .

推奨最大装着時間: 破過時間の50%. 本品使用前には皮膚保護クリームを使用すること。

推奨: ニトリルゴム。(最小厚さ - 0.4mm); クロロプレンゴム (最小厚さ - 0.5mm); プチルゴム。(最小厚さ - 0.7mm)

体の保護: 適切な保護衣を着用する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。化学防護服。

呼吸器の保護



推奨: 高性能フィルタ(EN143)の使用が推奨される。 フィルタータイプ A1 (以下と同等または類似: EN143)

特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項 予想されていない。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理化学的的特性についての情報

外観	茶色。 , 液体。
におい	特性。
臭いの閾値	確立されていない。
pH 値	確立されていない。
融点/凝固点 (°C)	確立されていない。
初留点と沸騰範囲 (°C)	確立されていない。
引火点(°C)	222 °C
蒸発速度	確立されていない。
燃焼性 (固体、ガス)	該当なし。 .
上限/下限可燃性または爆発限界	確立されていない。
蒸気圧(mm Hg)	確立されていない。
蒸気密度(空気=1)	確立されていない。
相対密度	確立されていない。
溶解度	不溶性。
分配係数 (n-オクタノール/水)	確立されていない。
自己発火温度(°C)	確立されていない。
分解温度(°C)	確立されていない。
粘度(mPa.s)	動粘度: 46 mm ² /s (40°C) 動粘度: 9.1 mm ² /s (100°C)

追加性質

爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。
密度	0,845 g/cm ³

セクション 10: 安定性及び反応性

反応性	普通の状態が安定。
化学的安定性	普通の状態が安定。
危険な反応の可能性	知られていない。
避けるべき条件	直射日光を避ける。 熱源 (高温表面など)、火花や裸火から遠ざけておく。
混触危険物質	~から離すこと: 強酸化物類。 .
危険有害性分解生成物	燃焼生成物: 一酸化炭素, 二酸化炭素. 有毒ヒュームが生成される可能性があります。

セクション 11: 有害性情報

毒性に関する情報

急性毒性 - 口	混合物。 : これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: LD50 >2,000 mg/kg 体重/日。
急性毒性 - 経皮	混合物。 : これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

<p>急性毒性 - 吸入</p>	<p>急性毒性推定混合計算: LD50 >2,000 mg/kg 体重/日。 混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: LC50 > 20mg/l (蒸気)。 混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p>
<p>皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 呼吸器感受性又は皮膚感受性</p>	<p>混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 混合物: Skin Sens. 1; H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 C14-16-18 Alkyl phenol Skin Sens. 1B; H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 マウス局所リンパ節アッセイ (LLNA)</p>
<p>生殖細胞変異原性データ 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 1 5 ~ 3 0)</p>	<p>混合物: Muta. 2; H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。 Muta. 2; H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。 NITE GHS 分類: 719</p>
<p>水素処理軽パラフィン系石油留分</p>	<p>Muta. 2; H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。 NITE GHS 分類: 719</p>
<p>発がん性</p>	<p>混合物: 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。 発がん性の証拠はない。</p>
<p>生殖毒性</p>	<p>混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 生殖毒性があるという証拠はありません。</p>
<p>特定標的臓器への毒性 (単回暴露) 特定標的臓器への毒性 (反復暴露)</p>	<p>混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 混合物: STOT RE 2; H373: 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。</p>
<p>水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 1 5 ~ 3 0)</p>	<p>STOT RE 1; H372: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。 NITE GHS 分類: 719</p>
<p>水素処理軽パラフィン系石油留分</p>	<p>STOT RE 1; H372: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。 NITE GHS 分類: 719</p>
<p>C14-16-18 Alkyl phenol</p>	<p>STOT RE 2; H373: 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。 対象臓器 (複数): 肝臓。 NOAEL: 100 mg/kg/day (ラット) OECD 407。</p>
<p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p>
<p>その他の情報</p>	<p>知られていない。</p>

セクション 12: 生態学的情報

<p>毒性</p>	<p>混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン 急性毒性: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 水生生物に対する慢性毒性: ECHA 登録書類</p>
<p>残留性および分解性</p>	<p>水素処理重パラフィン系石油留分 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない</p>
<p>水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 1 5 ~ 3 0)</p>	<p>物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない</p>
<p>水素処理軽パラフィン系石油留分</p>	<p>物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない</p>
<p>C14-16-18 Alkyl phenol</p>	<p>残留性はないと思われる。OECD 301B ECHA 登録書類</p>
<p>ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン</p>	<p>物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない</p>
<p>生物蓄積性</p>	<p>水素処理重パラフィン系石油留分 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない</p>

Special Tec V 0W-20 5L

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31 7月 2020

バージョン: 1.0

水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 1 5 ~ 3 0)	物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
水素処理軽パラフィン系石油留分	物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
C14-16-18 Alkyl phenol	生体蓄積性の表示なし。ECHA 登録書類
ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン	物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない

土壌中の移動度

水素処理重パラフィン系石油留分	物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 1 5 ~ 3 0)	物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
水素処理軽パラフィン系石油留分	物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
C14-16-18 Alkyl phenol	この物質は土壌中での移動性が低い。 Log Koc: >5.63 (OECD 121).
ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン	物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない

オゾン層に対する有害な影響

水素処理重パラフィン系石油留分	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 1 5 ~ 3 0)	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
水素処理軽パラフィン系石油留分	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
C14-16-18 Alkyl phenol	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
その他の有害な作用	知られていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理法	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。
追加情報	排水路、下水道または水路に入らないようにする。 環境への放出を避けること。空の容器と廃棄物は安全に廃棄すること。

セクション 14: 輸送上の注意

危険物輸送に関する UN 勧告 (the United Nations 'Recommendations on the Transport of Dangerous Goods') によれば、分類されていない。

	ADR/RID	国際海上危険物	IATA/ICAO
国連番号	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
UN 適切な船積み名	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
輸送危険分類	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
輸送危険分類	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
海洋汚染物質	分類されていない。	海洋汚染物質として分類	分類されていない。
		されていない。	
使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2		
MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠した	該当なし。		
バルク輸送			

セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

労働安全衛生法 (ISHA)	
通知対象物	水素処理重パラフィン系石油留分: ≥0.1% 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 1 5 ~ 3 0) : ≥0.1%

Special Tec V 0W-20 5L

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31 7月 2020
バージョン: 1.0

表示対象物

有機溶剤。

作業環境負荷基準の管理濃度

毒物及び劇物取締法

化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律

優先評価化学物質

既存化学物質

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

消防法

水素処理軽パラフィン系石油留分: $\geq 0.1\%$

溶剤脱ワックス重パラフィン系石油留分: $\geq 0.1\%$

水素処理重パラフィン系石油留分: $\geq 1\%$

水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 15 ~ 30) : $\geq 1\%$

水素処理軽パラフィン系石油留分: $\geq 1\%$

溶剤脱ワックス重パラフィン系石油留分: $\geq 1\%$

該当なし。

該当なし。

該当なし。

該当なし。

該当なし。

ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン-3-138

該当なし。

第四類引火性液体 第四石油類 危険等級 III

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 該当なし。.- V1.0

参考文献:

既存の安全データシート (SDS).

NITE 化学物質総合情報提供システム.

以下に対する既存の ECHA 登録: C14-16-18 Alkyl phenol (EC 番号 931-468-2) と ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン (CAS 番号 36878-20-3).

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252 : 2019 および JIS Z 7253 : 2019 に従って編集されています。

物質または混合物の分類 以下に準拠 JIS Z 7252:2019	分類手順
Muta. 2; H341	閾値計算
Skin Sens. 1; H317	閾値計算
STOT RE 2; H373	閾値計算

注釈

ADR/RID	ADR: 陸路による危険物の国際運送に関する欧州協定 / RID: 危険物の国際鉄道輸送に関する規制
BCF	生物濃縮率 (BCF)
CAS	CAS: 化学情報検索サービス
EC	EC: 欧州共同体
EU	欧州連合
ICAO/IATA	ICAO: 国際民間航空機関 / IATA: 国際航空運送協会
国際海上危険物	IMDG: 国際海上危険物
OECD	経済協力開発機構
UN	国連
NOAEL	有害な影響が観察されないレベル
Koc	土壌有機炭素-水分分配係数
ECHA	欧州化学物質庁

危険有害性分類 / 分類コード:

Asp. Tox. 1; 吸引性呼吸器有害性, 区分 1

Skin Sens. 1; 皮膚。感作性, 区分 1

Skin Sens. 1B; 皮膚。感作性, 区分 1B

Acute Tox. 4; 急性毒性, 区分 4

生殖細胞変異原性 区分 2; 生殖細胞変異原性データ, 区分 2

STOT SE 2; 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), 区分 2

STOT RE 1; 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), 区分 1

危険有害性情報

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H332: 吸入すると有害。

H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。

H371: 臓器の障害のおそれ。

H372: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。

Special Tec V 0W-20 5L

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31 7月 2020

バージョン: 1.0

STOT RE 2; 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), 区分 2

H373: 長年にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

Aquatic Chronic 3; 水生環境有害性, 慢性, 区分 3

H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

この出版物に含まれている情報または使用者様に提供される情報は正確であると考えられ、誠意を持ってご提供する一方で、使用者様は、各自の特定の目的に対して、製品の適合性に関する判断を自らの責任の下で行うものといたします。LIQUI MOLY GmbH は、特定の目的に対する製品の適合性について一切保証いたしません。また、黙示的な保証または条件 (法定またはその他) は、法律で除外が禁止されている場合を除き、除外されます。LIQUI MOLY GmbH は、本情報への依存に起因する損失または損害について責任を負いません (欠陥のある製品によって引き起こされた死亡、または人身傷害に起因するもので、それが証明された場合は除きます)。特許、著作権、意匠に基づく自由は想定できません。